

— 1 —
ポケット計算器の使い方

説明書



① この計算器は加へ算・引き算・掛け算・割り算を敏速に然も間違いなく計算して答を示す携帯式の計算器械であって、皆さんが数回練習することによって従来のソロバンのように上手・下手がなく、答を出すことができます。

次に掲げる二、三の要点を憶えれば誰にでも出来ます。

尚その次の例題によって是非練習して下さい。

要点

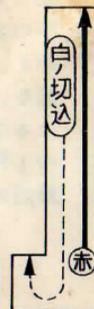
- 加え算………白数字を使って

白の切込は下え 赤の間の切込は上え廻し下げる (下らない場合は1桁上の白数字1の位置を上え廻し下げる)



- 引き算……最初の数字は白で引く数字は赤字を使って

赤の間の切込は上え
白の切込は下え廻し上げる (上らない場合は1桁上の赤字1の位置を下え廻し上げる)



先づ準備として上端に出た爪を上方へ引上げて表面の丸窓に全部0の数字を出した後、爪を押下げます。

- 次に備え付けの鉄筆の先端を角窓の中の切込みにさし込んでその切込板を上下に動かすことにより丸窓の数字が変わります。

加え算 例題Ⅰ $133 + 254 = 387$

先づ前記の方法で丸窓に全部0の数字を出した後、鉄筆を持って右から3番目の角窓の左側の白数字の1の位置の切込に針をさして窓の下端迄切込板を白矢印のように下げると丸窓に1の数字が出ます。次に2番目の角窓の白数字の3の位置の切込に針をさして押下げて丸窓に3の数字を出し、同様に1番目にも3の数字を出すと加えられる数字の133が丸窓に並びます。次に加える数字の254は加えられる数字と同

じ桁で右から3番目の角窓の左側の白数字の2の切込に針をさして下端まで押下げると丸窓に加えた数字3が出ます。同様に2番目の白数字5の位置に針をさして押下げると、8の数字が出るし、1番目の窓の4の数字にさして押下げると加えた7の数字が出て、答は387となります。

例題Ⅱ $133 + 87 = 220$

先づ丸窓に全部0の数字を出した後、前と同じ方法で、白数字を使って133を出します。次に133と同じ桁の2番目の角窓の白数字8の位置に針をさすとこの位置の切込は赤色でかまれていますのでこの場合は前と反対に角窓の上端迄押上げた後白矢印のように左へづらして押下げます。これは左隣の切込を1駒だけ押下げることとなります。即ち丸窓は21の数字が出ます。同様にして次の角窓の白数字7の切込も赤だから上方に押上げ左へ廻して押下げると丸窓には加えた数字の220が出てこれが答となります。

例題Ⅲ $99 + 5 = 104$

角窓の白数字で99を丸窓に出し次の5の位置の切込は赤の間だから押上げます。然しこの場合は左へ廻せない。この場合は針は上端で抜いて1桁上の右から2

番目の白数字の1の位置に針をさして押上げて左へ廻して押下げると、答の104が丸窓に出ます。

例題Ⅳ $999 + 5 = 1004$

999を丸窓に出して1桁目の5の位置は赤だから押上げて、左へ廻せないから、ここで針を抜いて1桁上の白数字1の位置を押上げると、これも廻せないから前と同様に針を抜き、次の1桁上の1の位置の押上げを繰返し答の1004を出す。

引き算 例題Ⅴ $427 - 215 = 212$

角窓の白数字を使って丸窓に427を出します。次にこれから215を引くには同じ桁の右から3番目の角窓の右側の赤数字を使って赤数字の2の位置に針をさすと切込は赤の間で赤矢印のように上方迄押上げ丸窓に引いた数字2を出し、同様に赤数字を使って1の位置、5の位置を押上げて答212が丸窓に出ます。

例題Ⅵ $417 - 88 = 329$

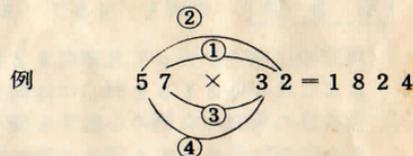
先づ白数字を使って417を丸窓に出し、次に同じ桁の2番目の角窓の赤数字の8の位置の切込は前と反対の白の間だから反対に下に押下げて左へ廻し押上げると丸窓は33が出ます。次

の8の赤数字の切込も白だから同様に押下げ廻すと丸窓に答の329が出ます。

例題Ⅵ 100-5=95

白数字で100を出し、赤数字を使って次の引く数字の5の位置は白だから押下げると左え廻しても押上げられない。この場合は針は下端で抜いて1桁上の赤数字1の位置を押下げて左え廻すと答95が出ます。

掛 け 算



$$\begin{array}{r}
 2 \times 7 \quad \quad 14 \\
 2 \times 5 \quad \quad 10 \\
 3 \times 7 \quad \quad 21 \\
 3 \times 5 \quad \quad +15 \\
 \hline
 1824
 \end{array}$$

前に掲げた①②③④の順序で掛ける数字の1桁目と掛けられる数字の1桁目を九九を使って掛けた2×7=14の14を右側の丸窓に出し、次に同じ掛ける数字と掛けられる数字の2桁目をを掛けた2×5=10の10を前の1桁上の丸窓に加えて114を示し次に掛ける数字の1桁上の数字と掛けられる数字のそれぞれを前と同様に九九を使って掛けて桁を合せながら加えた全体の数字1824が答です。

割 り 算

例 487 ÷ 22 = 22 …… 3

$$\begin{array}{r}
 487 \\
 -22 \dots\dots\dots 1 \\
 \hline
 26 \\
 -22 \dots\dots\dots 2 \\
 \hline
 47 \\
 -22 \dots\dots\dots 1 \\
 \hline
 25 \\
 -22 \dots\dots\dots 2 \\
 \hline
 3 \quad \quad 22
 \end{array}$$

先づ487を左側の丸窓に出し、頭から割る数字の22を引いて何回引けるかその回数を1、2と別の窓に例へば右側の丸窓に示して置き、引けなくなったら1桁下の数字と組合せた47から22を引いて、その回数は前の回数の1桁下の丸窓に示し、これが割った数字で、最後の引けなくなった数字は余りです。

答 22 余り3

練習方法

1から50までを加えていきますと1275が出ます。次は1275から1から50までを引いていきますと答は0になります。この練習を10回繰返せばこの計算器はもうあなたのものです。

※この計算器の説明書でおわかりにならない処があれば本社に御連絡下さい指導員が詳しく御説明申上ります。

ポケット計算機株式会社

本 社 東京都港区赤坂青山南町5丁目6番地
 電話 (401) 3205・(408) 4772
 東京支店 東京都千代田区神田鎌倉町2番地
 電話 (231) 4451~5・3168~9
 大阪支店 大阪市東区釣鐘町1丁目2番地
 電話 大阪 (94) 8630

御 案 内

このポケット計算器を御買上げの方には下記の特長があります。

1. 毎年9月このポケット計算器の発売周年を記念して全国地方都市に於てこの計算器の競技予選大会を開いて予選に通過された方約100人を東京の全国大会に御招待申し上げます。(旅費・宿泊費1泊及び日当1000円を支給します)
2. 東京の全国大会で優勝された方に賞品を差上げます。

- 1等 (1名) 自家用自動車(スバル360)
- 2等 (2名) 14吋テレビ
- 3等 (4名) トランジスターラジオ
- 4等 (8名) トースター
- 5等 (16名) 煙草セット

各1名1台宛 尚東京大会参加者全員に記念品を贈呈し観光バスで東京見物に御案内申し上げます。

3. このポケット計算器大会に参加資格は  のマークの入った計算器に限り参加できます。それ以外のものをお持ちの方は参加できません。(尚 東京大会で1等から5等迄に当選された方は次の大会には参加できません)
4. 大会の開催場所及び日時は6大新聞及びこの計算器の販売店に掲げたポスターで広告します。(但し地方大会で出場者が100人未満の地区は次年度に繰延します)